

12. キャリアサポートセンター

平成21年度事業の概要

世界同時不況下、就職氷河期の再来と表される就職環境の悪化は対前年全産業平均採用数20%強の減少、当大学への求人社数も18%減少という厳しい状況でありました。この環境下において企業招聘による学内就職相談会の追加開催、未内定学生への個別支援強化、筆記テスト対策強化などを図ってまいりましたが就職率は前年を下回る結果となりました。直接的な就職活動支援事業の他には教職協働によりゼミ授業におけるキャリアガイダンス、インターンシップ授業、キャリア系教育を計画通り実施いたしました。

1) 平成21年度（平成22年3月卒業生）就職状況

保健学部 97.0%（前年95.0%）

主な就職先 杏林大学医学部附属病院・東京大学附属病院・慶応義塾大学病院・聖マリアンナ医科大学病院・国立病院機構関東ブロック・国立生育医療センター・虎の門病院・聖路加国際病院・江東微生物研究所・東京消防庁・千葉国際中高等学校・西武学園文理小学校・東京都・神奈川県・八王子市・相模原市・東大和市・八千代市・名古屋市

総合政策学部 86%（前年91.6%）

主な就職先 積水ハウス・八千代銀行・東京トヨペット・イトーヨーカドー・諏訪信用金庫・エービーシー商会・トヨタレンタリース多摩・郵政事業・警視庁・神奈川県警・埼玉県警・東京都・柏市役所・富山市役所

外国語学部 81%（前年88%）

主な就職先 ANA グランドサービス・ANA テレマート・JAL スカイ・郵政事業・竹中工務店・三機工業・常陽銀行・山梨中央銀行・小田急リゾート・西日本鉄道・京成トラベル・JA 新ふくしま・JA 秋田おばこ

2) 就職荒天対策の実行

4年生対象に5月開催の学内企業説明会では対前年2倍の企業を招聘、参加学生も3倍に増加。

また、7月には就職活動中の学生への個別支援対応の仕組み導入や卒業前月の2月に学内企業説明会及び選考会を追加し就職支援の強化を図ってきました。

同時に3年生に対する支援も強化し夏季筆記試験対策講座や2月の企業合同説明会では24社増の120社を招聘して開催いたしました。

3) 各学部との連携による事業

インターンシップ企業の開拓、派遣に関わる支援に努め履修学生数の増加につなげています。キャリア形成支援・就職活動支援を目的とした出張ゼミ講座、就職対策ミニ講座、企業見学の機会増加に取り組みました。これらの支援プログラムを学年暦として見える化をはかり公表、周知に務めました。

4) 資格取得講座開講によるキャリア形成支援事業

将来のキャリア形成を考え、目標を持って計画的に大学生活を過ごせるように当センターでは1年生からの資格取得を推奨しています。当年度は12講座を開講いたしました。

5) 産学地域連携による学生支援事業

地域企業との連携によりキャリア支援事業の充実を図り、人材の育成ならびに地元企業への就職につなげる施策として、多摩地区周辺企業社の協力を得ることができました。その結果、昨年度は地域交流委員会と共催した「地元企業による講演会」を2回開催。12月には面接強化セミナーに面接官としての協力を得ることができました。

6) 今後の課題

現下の経済状況から、民間企業における採用数の減少、並びに厳選採用が暫くの期間継続されることが予測されます。このような環境にあって、学生の公務員志望の増加や厳選採用に対応できる大学生の人的価値を更に高めていく施策が求められます。

当センターでは、公務員志望者支援の取組み、民間企業志望者への取組みを支援するために学生自らが自主的に価値を高めていく仕組みと支援プログラムを次年度に向けて構築していきます。

以上。